令和3年11月
足立区長定例記者会見

― 第4回 足立区議会定例会前 ―

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

2021 11 22

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

1

新型コロナウイルス

ワクチン追加接種(3回目)に向けて

ワクチン3回目接種の体制を整備

足立区コロナワクチン予約・相談ダイヤル
0120-230-377
受付時間 8:00～20:00（毎日対応）

フリーダイヤルに変わりました

接種対象年齢の区民約63万人のうち

512,487人（81.3%）が2回接種完了

年代別接種状況

65以上	156,348	60-64	31,607	50代	86,826
40代	84,634	30代	63,274	20代	59,460
10代	30,338				

※11月22日現在

3回目接種に関する国からの説明（11月17日）概要

- 対象者は、2回接種完了者すべて（ただし18歳以上の方）
- 使用するワクチンは、1・2回目の種類にかかわらず、ファイザー社又はモデルナ社ワクチンを用いることが適当（交互接種）
- 2回目接種からの接種間隔は2回目接種完了から原則8カ月以上とする

8カ月後に速やかに3回目の接種ができるよう1カ月前に接種券を順次発送

3回目接種の月別対象者数（18歳未満を含む）

2回目完了	接種券発送予定	3回目予定	対象者数(人)
2021年3月 ※先行医療従事者	2021年11月19日（済）	2021年12月 医療従事者開始	539
4月 ※先行医療従事者	11月19日（済）	12月	2,041
5月 ※主に医療従事者	12月	2022年 1月	11,796
6月 ※主に65歳以上の方	2022年 1月 区民の皆様本格開始	2月	71,992
7月	2月	3月	113,279
8月	3月	4月	121,381
9月	4月	5月	83,903
10月	5月	6月	99,733
11月	6月	7月	7,823（※）

※今後も接種者あり

3回目の接種は1・2回目と同様「集団接種」と「個別接種」で実施

集団接種
- 区予約システムにインターネットから予約
- ワクチン専用コールセンターに電話して予約

個別接種
- 区予約システムにインターネットから予約（一部医療機関のみ）
- 直接医療機関に問い合わせ・予約

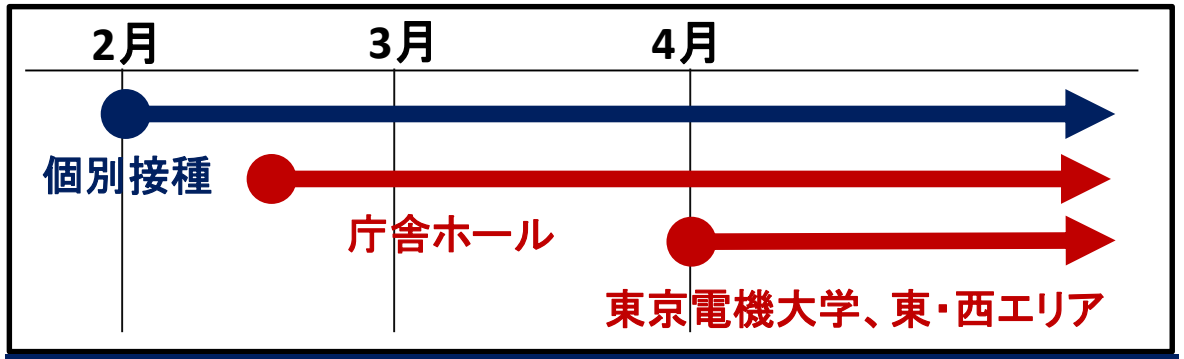
予約開始する時期は区ホームページ等でお知らせ

3回目接種のスケジュール

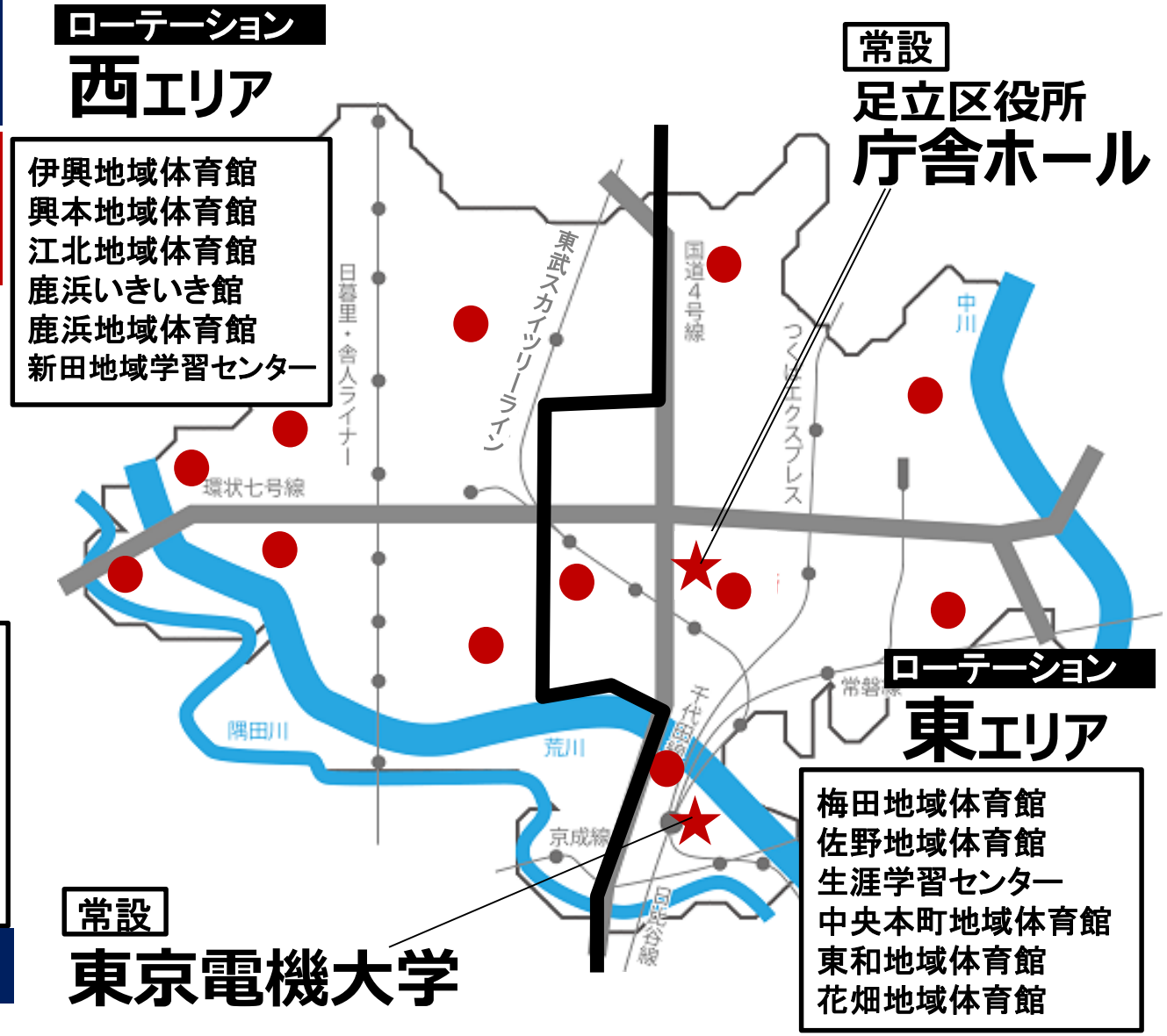
個別接種	● 当初は高齢者が多いことから医療機関（かかりつけ医）で**2月上旬**（調整中）から先行開始
集団接種	● 足立区役所庁舎ホールで**2月20日**（予定）から開始 ● **4月1日**（予定）から会場を**3か所**追加

- 庁舎ホールと**東京電機大学**は**常設**で**週6日**実施
- **その他の集団接種会場**は区内**全12か所**

  東エリアと西エリアごとに**各1か所**、常時2か所開設
  ローテーションで1か所あたり**週6日**実施
- 東・西エリア **どちらでも** 希望の日時・場所を**予約可**



4月から毎週、区内4か所の接種会場が必ず開いています



BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

2 江北・綾瀬エリアデザイン計画

江北 悲願達成　大学病院が足立区に！

綾瀬 用地取得　交通広場整備に向け一歩前進！

東京女子医科大学附属足立医療センター開院までの経緯

2015年（平成27年）
- 4月 ・同大学東医療センター**移転**の**覚書**締結

2016年（平成28年）
- 3月 ・足立区大学病院施設等**整備基金条例制定**

2017年（平成29年）
- 3月 ・足立区における病院**整備の基本方針策定**
- 4月 ・同センターの**建設**及び**運営**等に関する**覚書**締結

2018年（平成30年）
- 7月、10月 ・**東京都から土地を取得**
- 12月 ・同センターの**建設**及び**運営**等に関する**基本協定締結**

2019年（平成31年）
- 3月 ・同センターの建設**工事着手**

2020年（令和2年）
- 2月 ・江北まちづくり住民説明会開催

2021年（令和3年）
- 1月 ・病院名称が「**東京女子医科大学附属足立医療センター**」に決定
- ・道路愛称を「おしべ通り」から「**東京女子医大通り**」に変更
- 6月 ・外来診療開始日が**令和4年1月5日**に決定
  ※開院日は1月1日
- 7月 ・**竣工**（31日）
- 11月 ・竣工式開催（12日）

▼移転覚書締結（上野病院長(当時)）

▼建設・運営覚書締結（吉岡理事長(当時)）

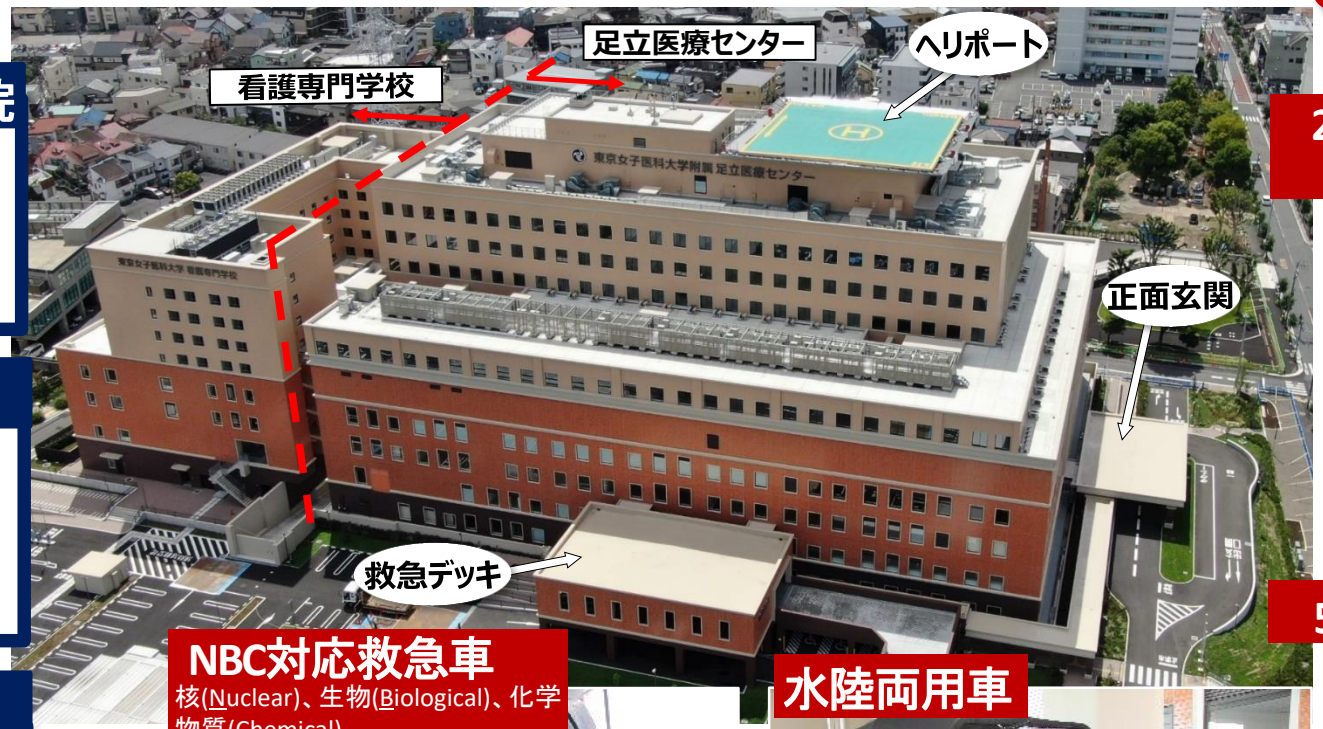
▼建設・運営基本協定締結

▼竣工

いよいよ令和4年1月5日(水)外来診療開始

江北エリア ＼悲願達成／ 大学病院が足立区に！

足立区江北四丁目33番1号



Point1
周産期医療の基幹病院
低出生体重児等まで
対応する周産期医療
MFICU/6床・NICU/15床・GCU/18床

Point2
都内東北部唯一
重症患者に対する
区の救命救急センター
中等症と重症を扱う救命救急を
同一区画に

Point3
屋上ヘリポート
重症患者のヘリ
コプター搬送に対応
他県や東京都ドクターヘリにも対応

※受診には紹介状が必要なため、
事前にかかりつけ医への相談が必要

Point4
区内医療機関では初の導入

2F救命救急センター・ハイブリットER

CT検査と同時に手術が
即座に移動なしで実施可能

NBC対応救急車
核(Nuclear)、生物(Biological)、化学物質(Chemical)

NBC災害時も
救命処置や緊急手術が可能

水陸両用車

日本の医療機関で初導入
水害時の物資調達に活用

5Fハイブリッド手術室

手術室でバイプレーン（2方向）
から血管造影検査ができる

変わる病院周辺の環境

周辺地域の整備

緑道 ※北側緑道を西側から撮影　1/4～

住んでいて自ずと
歩きたくなるまち

喫煙所

利用時間：6時～23時

無電柱化

病院周辺は**実施済**

バス転回場は次のページで説明

来院者や区民に親しみやすい案内

愛称名看板　11月下旬～

※東京女子医大通りに計7か所設置

日暮里・舎人ライナー
江北駅　副駅名　1/5～

足立医療センターまで徒歩4分

周辺バス路線

病院へのアクセス向上

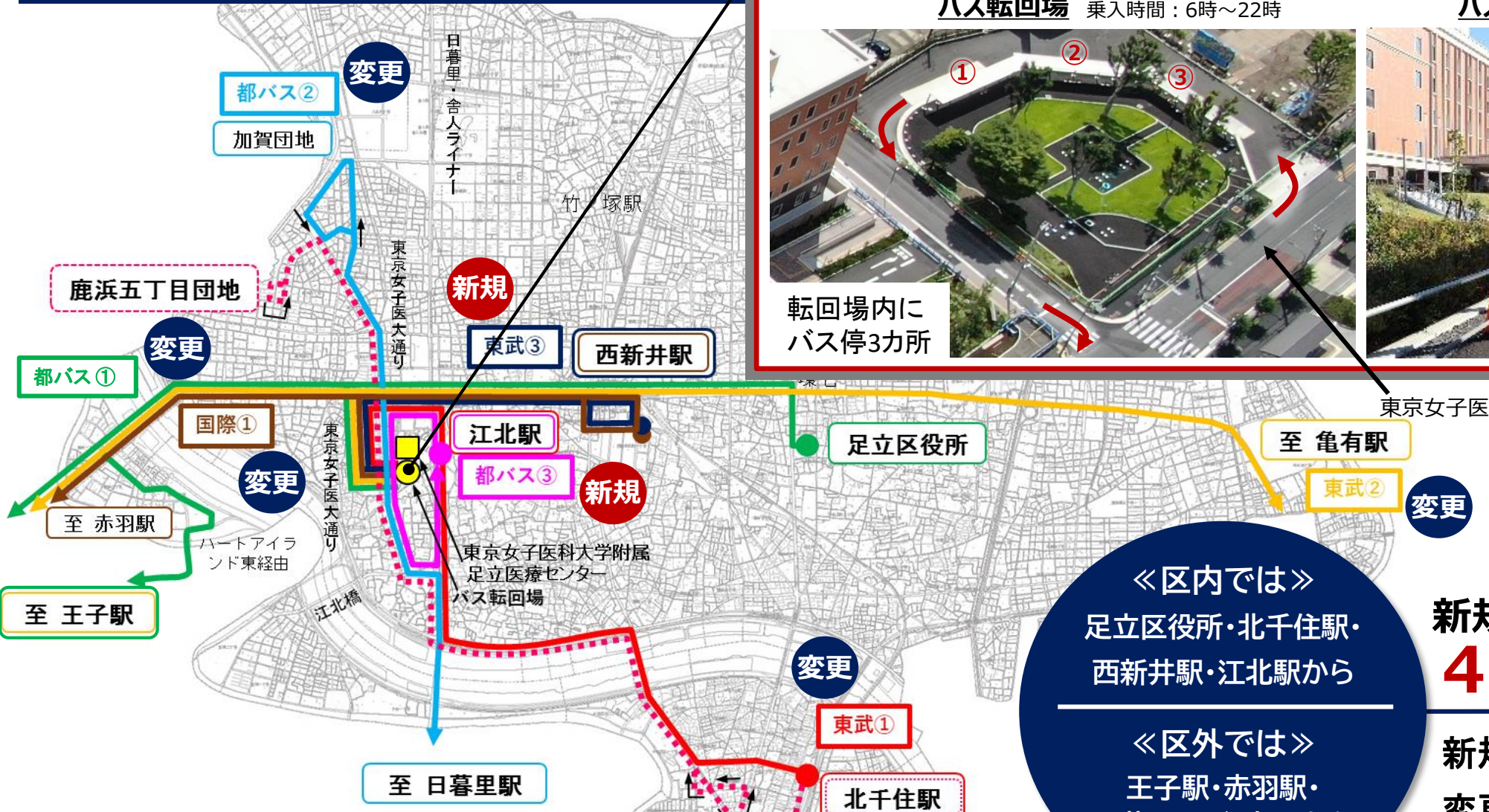
バス転回場 乗入時間：6時～22時

転回場内に
バス停3カ所

バス停（東京女子医大通り）

東京女子医大通り

東京女子医大通り



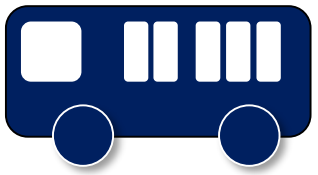
≪区内では≫
足立区役所・北千住駅・
西新井駅・江北駅から

≪区外では≫
王子駅・赤羽駅・
日暮里駅・亀有駅から

1月4日から

新規や経路変更など
4社8系統のバスが運行

新規2路線
変更5路線
既存1路線



※ 系統については、既存路線のすべての便が、
足立医療センター経由となるものではありません

東京女子医科大学付属足立医療センターを撮影した

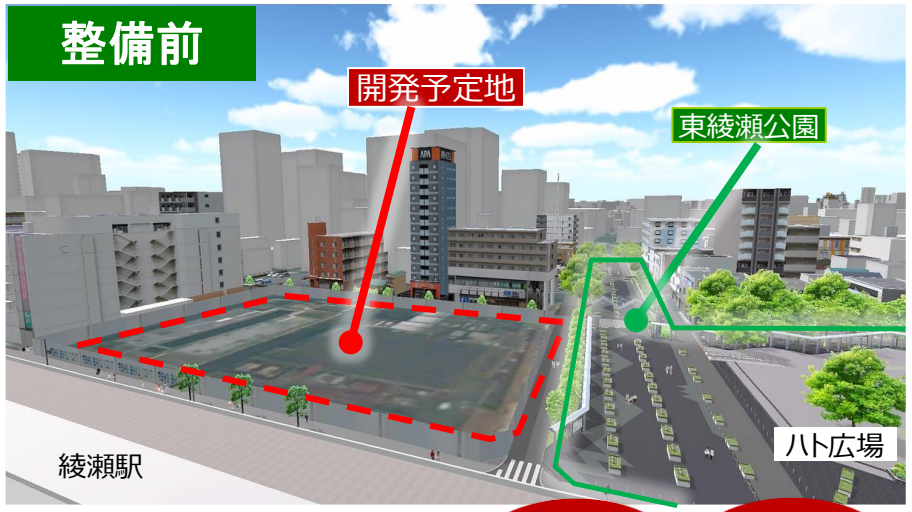
ドローン映像をご覧ください

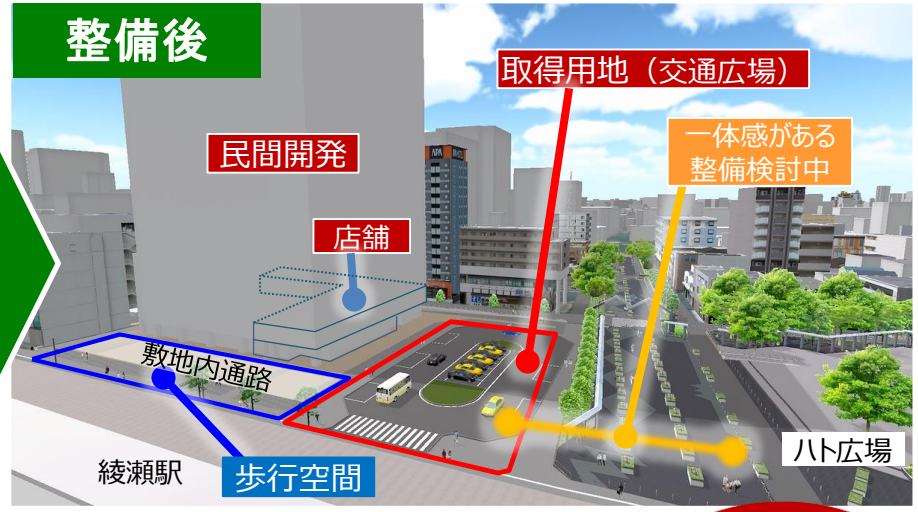
（令和3年8月18日撮影・約30秒）

綾瀬駅前環境整備

綾瀬エリア

10/29 用地取得／交通広場整備に向け一歩前進！





Point1

交通広場と東綾瀬公園との一体感

イベント等に活用しやすいオープンスペースの創出

Point2

ゆとりのある歩行空間の創出

駅周辺の回遊性向上につなげる駅前通りの歩行環境改善

民間開発

1～2階 一部店舗

3～32階 住居

工事期間：令和4年4月～7年3月末

- 敷地面積：約3,600㎡
- 建築面積：約1,900㎡
- 建物高さ：約110m
- 構造規模：RC造　地上32階／地下1階
- 住　戸　数：427戸

交通広場整備

～令和4年度 設計中

工事期間：令和5年～6年度(10月供用開始予定)

- 広場面積：約1,500㎡
  （うち取得面積：1,288㎡）
- はるかぜのバス停：4か所
- タクシー乗降場所：1か所(タクシープール有)
- 身障者用乗降場所：1か所

綾瀬駅東口周辺の将来像

VR映像をご覧ください

（1分16秒）

BEYOND COVID-19

あだちから

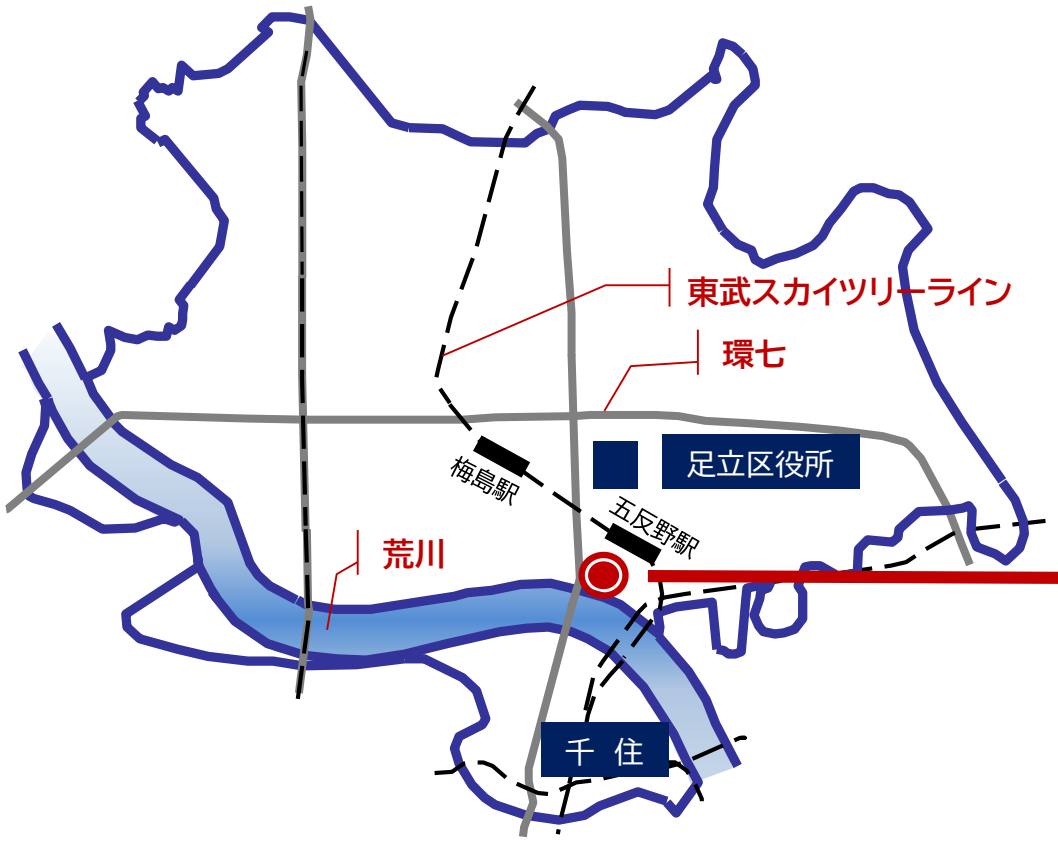
ふみだそう。新たな一歩を。

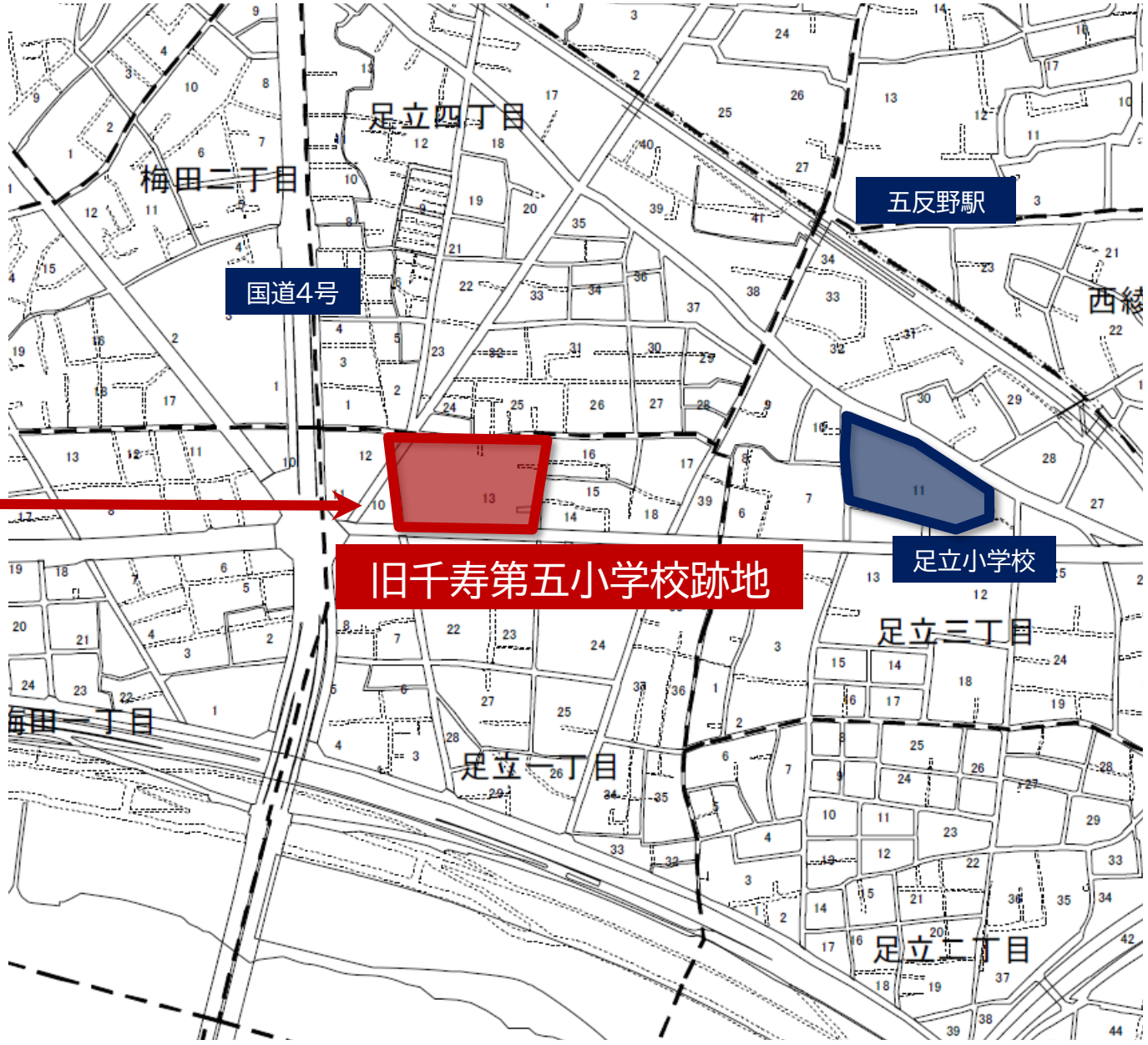
3

平成27年4月以降未利用だった
旧千寿第五小学校跡地の活用

不登校特例校・福祉型児童発達支援センターの設置へ

旧千寿第五小学校跡地の位置（足立区足立一丁目13番）





・国道4号に近い
・五反野駅から徒歩6分
・約6，360㎡の敷地
・定期借地権による貸し付け54年
（令和4年5月1日～）

活用までの経緯と事業者

1 経 緯

平成25年3月	学校統合により廃校
平成25年4月	統合校建設の仮設校舎として使用（平成27年3月まで）
平成28年12月	第1回サウンディング型市場調査を実施し、11社から提案あり
令和 2年10月	第2回サウンディング型市場調査を実施し、2社から提案あり

公募へ 「地域の方々の想い」である避難所を含む文教施設及び児童発達支援センターとして活用するための公募を決定。

地域の方々の想い

平成25年8月23日、平成27年4月21日、区長あて請願書を受理

「跡地利用は、避難所など地域のために活用してほしい」

2 公募条件（以下の機能を有すること）

令和3年4月19日～9月10日

①避難所機能を有する文教施設　②福祉型児童発達支援センター

3 事業者

9/10公表

区内の東京未来大学運営法人

学校法人 **三幸学園**（文京区本郷3-23-16）

提案

詳細は決まり次第、情報発信していきます

① 避難所 を有する不登校特例校（中学校）＋通信制高等学校

②福祉型児童発達支援センター

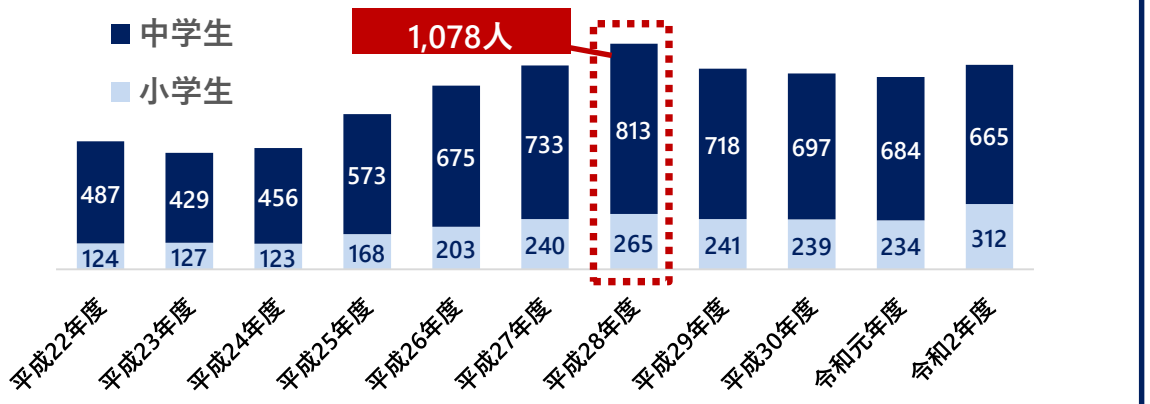
解体工事前の校庭開放の様子（10/2）

10月から校舎解体工事中

①不登校特例中学校の設置

特例校とは？ 不登校児童・生徒を対象とする特別の教育課程（時間数が短いなど）を編成して教育を実施する学校

足立区の不登校児童・生徒人数の推移



平成28年、不登校児童・生徒が1,000人超える

学校（在籍校）復帰を目指した不登校対策を強化

- 令和元年 チャレンジ学級の増設（2カ所→3カ所）
- 令和2年 あすテップの開設（2カ所）

課題 不登校の要因は様々なため、**在籍する学校へ復帰困難な生徒もいる**

三幸学園より

不登校特例中学校＋通信制高等学校設置の提案

不登校生徒の 新たな選択肢 令和6年4月開校予定

設置できれば、都内**8カ所**目

特例校と他の不登校対策との違い

	チャレンジ学級（適応指導教室）	あすテップ（校内型適応指導教室）	特例校
目的	在籍学校への復帰	在籍学校への復帰	転校、特例校での卒業（文科省指定）
特徴	・学校以外での学習支援 ・学校環境なし ・独自のｶﾘｷｭﾗﾑ	・学校内の施設で学習支援 ・学校環境に近い時間割 ・学校施設を活用（給食提供）	・法律上の学校 ・教育課程の一部を不登校の支援に特化
形態	学校以外の施設 生徒の籍は、在籍校にある	特定の学校の教室を利用 生徒の籍は、在籍校にある	学校
利用実績	70名（3カ所） 11月18日現在	22名（2カ所） 11月18日現在	なし

②福祉型児童発達支援センターの設置

児童発達支援センターとは？

児童福祉法に基づき、身体、知的または精神に
障がいのある小学校入学前の子どもに対する通所訓練施設

現在、区内3カ所に児童発達支援センターを設置

●福祉型	区立障がい福祉センター幼児発達支援室ひよこ（足立区梅島3-31-19）
●福祉型	私立うめだ・あけぼの学園（足立区梅田7-12-15）
★医療型	都立北療育センター城北分園（足立区南花畑5-10-1）

課題

- 幼児発達支援室（ひよこ）は1,000人の外来療育（個別、グループ）のニーズがあり、十分な支援が行き届かない
- 4月当初から待機が発生し、通所の待機児数が年度末には、待機児が40名となる

公募

- 課題解決に向けて、福祉型児童発達支援センターの設置を公募条件とした

令和7年4月

福祉型児童発達支援センター開所予定

至急対応が必要な個別外来療育については

令和7年の開所までの対応

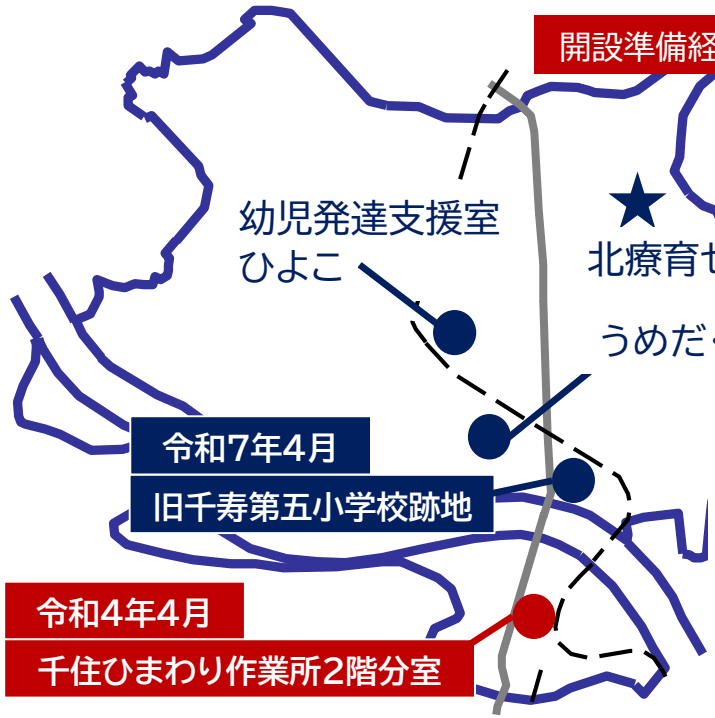
第8号補正予算

令和4年4月

千住ひまわり作業所2階に分室を開設

（足立区千住仲町24-2）

開設準備経費 **3,545千円**



新しい児童発達支援センター開所後の分室の取り扱いについては、支援児の状況により検討していく

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

4

デジタルトランスフォーメーション

DXの進捗

区民サービスが向上

変わる！足立区役所の手続き

Before 電子申請数がすぐに増やせない

東京共同電子申請・届出サービス

東京都及び都内区市町村が現在使用している
プラットフォームで、行政サービスが向上した

Point1 **いつでも可能** 土日問わず、都合の良い時間で

Point2 **どこでも可能** スマホ・タブレットから

一方、課題もある

①本人確認は、マイナンバーカードが必要（普及率が影響）
②電子申請にコストがかかり、多くの手続きを電子化できない

令和4年4月

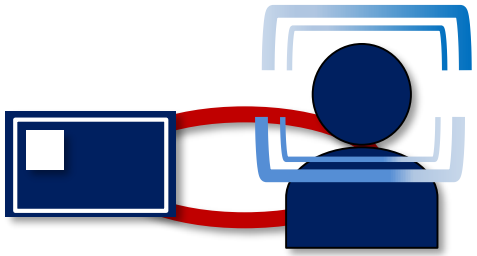
足立区独自のプラットフォームを構築

After 更なるサービスの向上

令和4年3月末稼働予定

Point3 **eKYC導入** 23区で2番目に導入

運転免許証やパスポートなどの写真付公的認証と自身の顔の画像により本人確認を行うことで、申請の内容に応じた幅広い手続きを可能にします



※手続きにより、厳格な本人確認から簡易なIDでの確認まで対応します

現在の94手続きから約2倍超へ

220超の手続きで電子申請可能※下記は主な申請

- 住民票の写し等交付申請
- 住民税特別徴収届
- 高齢者予防接種予診票の申請
- がん検診申込
- 粗大ごみ申請　など

利用者が都合の良い時間に手続き可能。来所も不要の場合も。

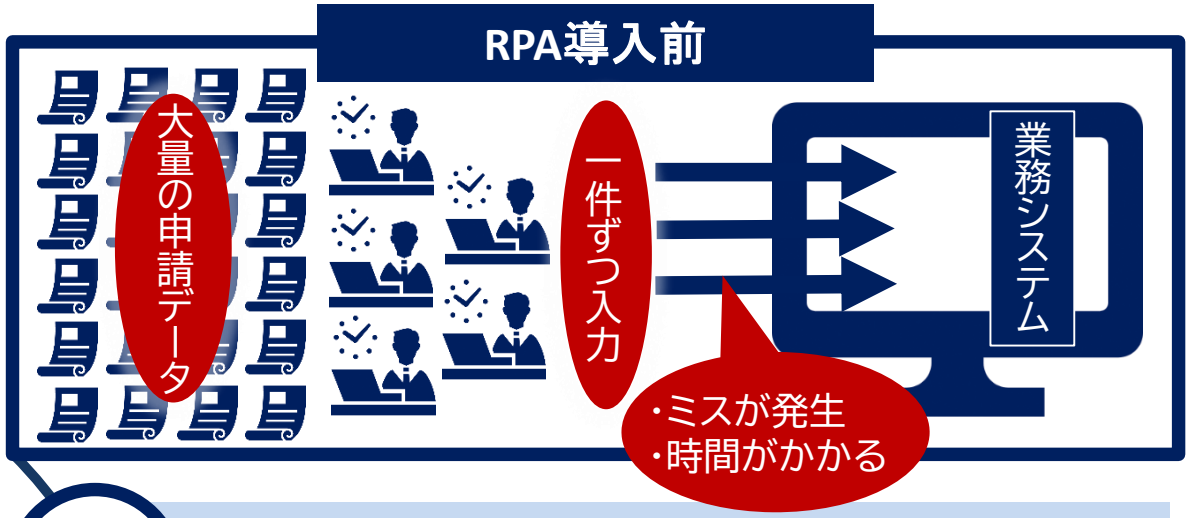
RPA(Robotic Process Automation)ツールの導入

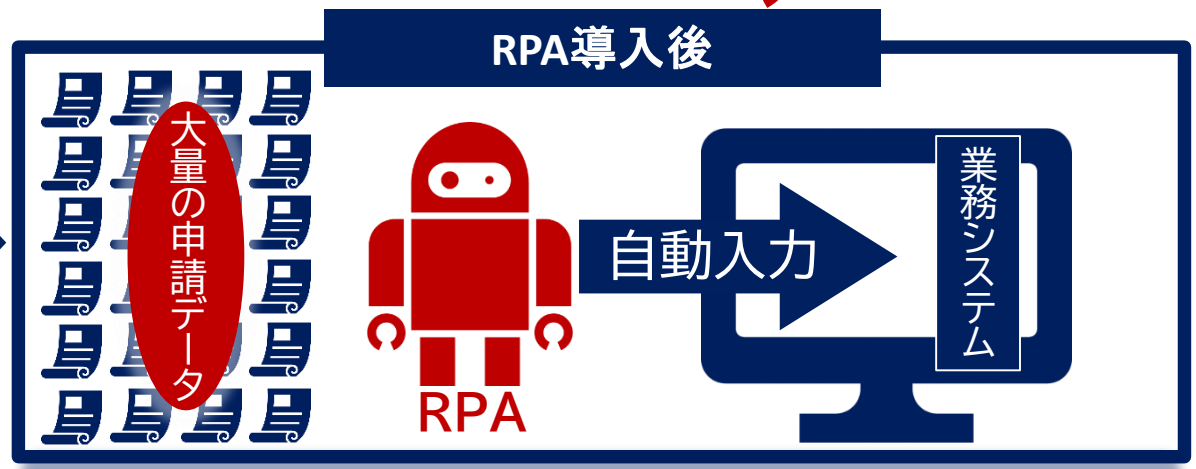
第8号補正予算

業務効率化とミス防止

増えたオンライン申請データを自動で業務システムへ

導入経費 **32,928千円**





1. 職員の<u>作業時間を短縮</u>
2. 転記ミス等を防止し、<u>作業品質が向上</u>
3. Robotは<u>体力無尽蔵</u>、夜間も処理を継続

DXの庁内先行事例　保育業務の流れをDXします

第8号補正予算

1 保育コンシェルジュのオンライン相談

令和3年4月15日開始済

「Webex」を活用して自宅にて保育コンシェルジュに保育入所相談ができる

今年度実績**317**件（11/17時点）

保護者の声

「小さな子どもを連れて区役所に行くのは大変なので、自宅で資料を見ながら相談できたのは良かった」

2 保育所等の申込の電子申請

令和3年11月18日開始

開始からの実績 **89**件（本日時点）

保護者の声

「窓口まで出向かずに、自宅から手軽に保育園の申し込みをすることができて、とても便利だった」

★ 利用者が**来庁せず**に手続き可能！

★ 職員の**負担軽減**！

3 RPAツール

令和4年度本格稼働

32,928千円

※前ページで説明

4 AIによる入所調整

令和3年12月下旬

1,400時間から▲840時間

AIマッチングを活用した利用調整を行います。職員業務の省力化・時間短縮・ヒューマンエラーの抑制を図る

職員の声

「普段から時間がかかる利用調整会議が短縮できて、他の業務に注力できます」

5 区立保育所等のICT化

令和4年4月1日区立全園で導入

20,265千円

保育支援システムコドモンを区立3園でモデル導入済み。検証評価は高く、保護者からの評価も良好のため区立全園で導入。登降園管理や保護者への情報配信など保護者の利便性向上する

保護者の声

「普段どの様に過ごしているのかメールが届くため、安心感に繋がっています」

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

5 学校ICTの進捗

全児童・生徒及び教員のタブレット端末、Chromebookへ統一

第8号補正予算

経 緯

令和元年9月	5,064台（各校1クラス分）のWindowsタブレットを整備	選定理由	授業での機能や学習ソフトなどWindowsの優位性を重視
令和2年6月～令和3年9月	GIGAスクール構想の前倒しで、一人一台タブレット実現のためChromebookを40，000台整備完了	選定理由	短期に大量に調達でき、調達・運用コストが安価であることを重視

Windowsタブレット・Chromebook混在について、十分な検証ができなかった

統一する理 由

① WindowsとChromebookが混在し、立ち上げやログインにかかる時間に差があるため、児童・生徒に不公平感がある
②教員より、指導しにくいとの声がある
③ Windows端末は、授業時に立ち上げが遅く、授業の進行に影響がある

Chromebook 6,914台 追加で購入

令和3年度ゼロ債務 令和4年度予算

1,083,818千円

（児童・生徒用）@ 52,500円×5，814台×1.1＝335,758,500円
（教員用） @157,620円×1，100台×1.1＝190,720,200円
（その他：ソフトウェア経費等） 557,338,650円

児童・生徒一人一台端末のうちWindowsタブレットとの入れ替え分	5,064台
教員用（特別支援教員用250台を含む）	1,100台
児童・生徒用Chromebookの故障・破損時の予備機	750台

児童館・学童保育室でもタブレット活用可能

第8号補正予算

Wi-Fi環境整備事業

6,957千円（Wi-Fiルーター購入費、通信費等）

施設	施設数/台数
児童館(全51館)	51館/51台
鹿浜いきいき館	1館/2台
学童保育室	123室/123台

▲学童保育の様子

▲活用イメージ

※鹿浜いきいき館は、児童館1台、会議室1台

※学童保育室は、住区学童76室、直営学童7室、指定管理学童21室(令和4年度新設学童2室含む)、民設学童19室(令和4年度新設学童1室 含む)

児童・生徒、一人一台のタブレットの活用場所が広がります

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

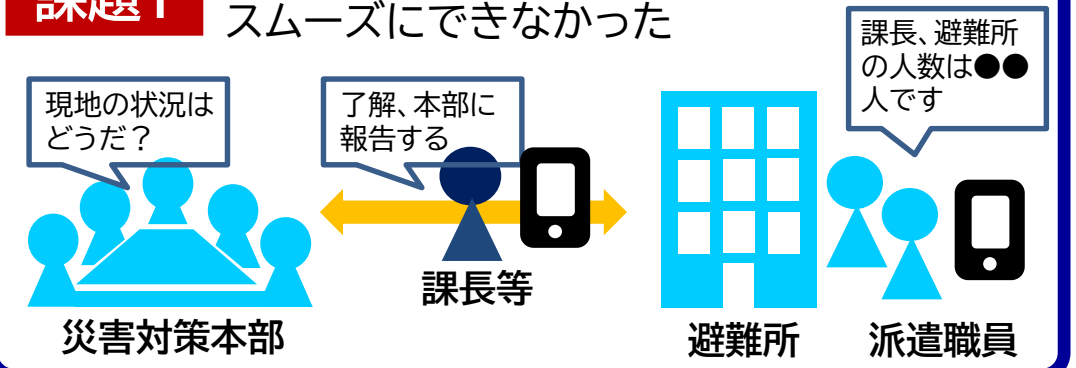
6 避難所の状況をリアルタイムで共有

令和４年1月から　本部と現地の情報共有ができる災害情報システム稼働

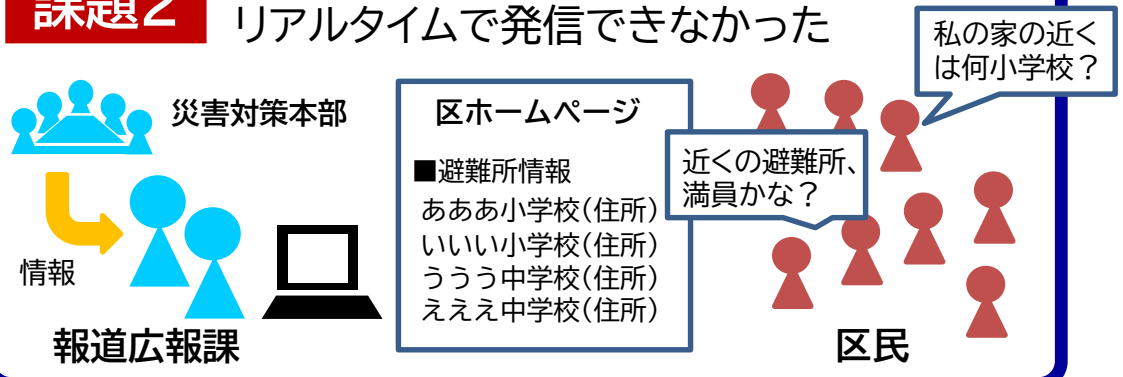
令和４年４月から　区民が閲覧できるポータルサイト稼働

令和元年台風第19号から見えた課題、そして課題解決へ

課題1 災害対策本部と現地職員の情報共有がスムーズにできなかった



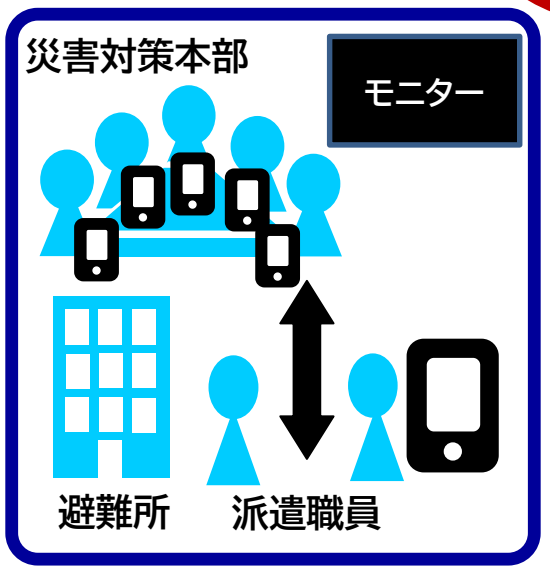
課題2 避難所の混雑状況や被害状況などをリアルタイムで発信できなかった



令和4年4月本格稼働予定

災害情報システムの構築

ポータルサイトの立ち上げ／アプリ開発など



現場とつながる

■タブレットを活用
■本部と現地の情報共有
■現地情報をリアルタイムで発信
■「避難所の状況」
■「区内の被害状況」

どちらもクラウドサービスを利用

区民とつながる

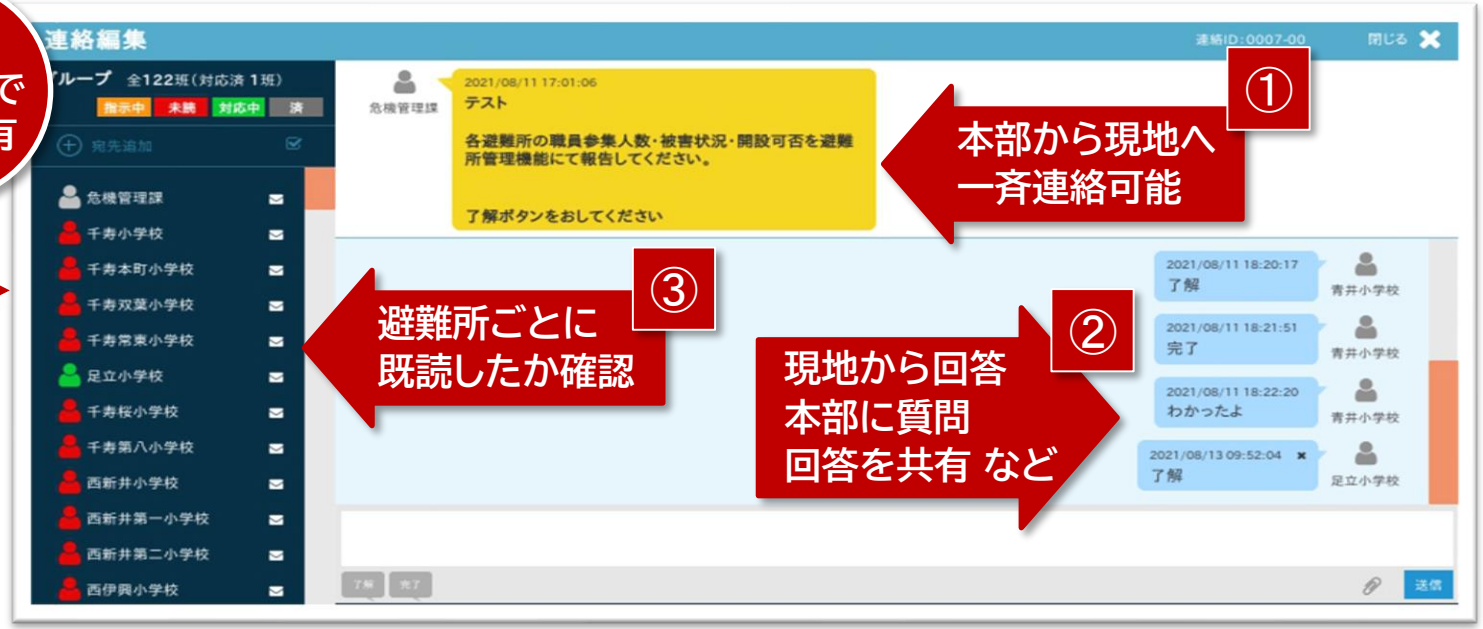
■新ポータルサイト
■新アプリも開発中
■避難所開設情報が地図上でわかる
■避難所の開設・混雑状況
■「区内の被害状況」

課題①の解決　本部と各避難所がつながる

令和4年1月・運用開始予定

区災害情報システム

現地とチャットで情報共有



① 本部から現地へ一斉連絡可能

② 現地から回答 本部に質問 回答を共有 など

③ 避難所ごとに既読したか確認

現地から避難者情報を発信

① 許容人数事前セット

② 避難者数を入力

③ %で色分けされる

この情報を直接クラウドにリアルタイムでアップ

次ページで紹介

※現在調整中・ 画像はイメージ

課題②の解決　開設状況をリアルタイムで確認

新しく
ポータルサイト
を開設

避難所の
一覧から
希望する場所を
選択

地図に
マッピング
表示

色で
開設状況等
を伝える

※現在調整中・すべて画像はイメージ

防災行政無線の聞こえをカバー　防災マグネットシートを全戸配布

■ 防災行政無線に関する声

- 区民から：スピーカーから流れてくる音声が雨風が強いと何を言っているか全然わからない
- 議会から：聞こえづらいエリアがある

■ 「聞こえない」というお声に対応するために

- 出水期前の令和4年5月(※)までに約35万世帯へ全戸配布（予定）
- 改訂版・足立区洪水ハザードマップに同封して配布する
- 全戸配布後は、区民事務所等で転入者に配布（約5万枚配布予定）

※配布時期は、現時点の想定。第8号補正予算で、配布時期を3年度中から4年度に変更することを提案

現行のマグネットシート

聞き直しダイヤル

新たな情報を追加して配布

プラス3cm

※現在調整中・ 画像はイメージ

お願い　各ご家庭の冷蔵庫など、**目の届く範囲**に貼ってください

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

ADACHI CITY